

第6次碧南市総合計画を策定しました

問 経営企画課政策推進係
☎ (95) 9865



ホームページID
15703



我が国は、本格的な人口減少社会に移行し、生産年齢人口の減少と社会保障費の増大に直面しています。一方、情報通信分野の技術革新の急速な進展により、新たな産業や生活スタイルが生まれています。こうした変化は今後さらに進展し、社会経済環境は大きく変化することが考えられます。このような社会情勢が大きく転換するなかで、市の将来を展望し、持続可能な魅力あるまちとするための新たなまちづくりの指針として、令和3年度から12年度までの10年間の目標と、その実現に向けた施策を定めた第6次碧南市総合計画を策定しました。

我が国の現状と将来動向

- 超高齢社会の進展
- 人口減少・生産年齢人口の減少
- 都市のスポンジ化
- 災害リスクの高まり
- インフラ施設・公共施設の老朽化
- 技術革新・Society5.0の進展
- 行政のデジタル化
- 外国人の増加
- SDGsの推進



計画の位置づけ

総合計画は、市の最上位計画であり、めざすまちの姿、まちづくりの目標、まちづくり戦略、分野別の基本施策を示します。分野別の基本施策に基づく具体的な方針、数値目標は施策の個別計画に委ねます。

碧南市の主要課題

- 防災対策の充実
- 次世代に向けた産業力の強化
- 子育て世代への支援
- 若者世代への魅力づくり
- 高齢者の生きがい創出
- 交流を促進する都市づくり
- 外国人との共生と地域コミュニティの活性化
- 医療体制の充実
- 先端技術を用いた市民サービスの向上
- 多様で幅広い連携の推進
- 公共施設の効果的な利活用の推進
- 行財政運営の健全化



まちづくりの基本理念

まちづくりの基本理念は、以下の市民憲章とします。

1. **安心して住める町に**
いのちを大切に、すこやかな毎日をおくります。
1. **活気ある町に**
元気で働き、豊かな家庭を築きます。
1. **あたたかい心の町に**
話し合いの輪をひろげ、なごやかな社会をつくります。
1. **きれいな水と青い空の町に**
自然をだいじにし、美しい郷土をつくります。
1. **清新な文化の町に**
若い力を育て、文化と教養のまちをつくります。

将来像

新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち
へきなん

我が国は健康寿命が世界一の長寿社会であり、「人生100年時代」を迎えています。碧南市は、この長寿命社会に対応しつつ、将来像である「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」を市民と行政が共有しつくり上げることで、市民が笑顔で元気に安心して暮らせるまちが実現すると考えます。

施策の大綱

施策分野 1 安心安全で住みやすいまち



防災、防犯、交通安全対策を充実し、地域の安全性を高めるとともに、自然環境の保全、ゴミの減量化など快適で潤いのある環境づくりを進め、安心安全で住みやすいまちをめざします。

基本 施策

- ◆防災対策
- ◆防犯・交通安全
- ◆上下水道・治水
- ◆公園・緑地
- ◆環境・ごみ・エネルギー

施策分野 2 人と文化が育ち・支え合うまち

子育てや教育環境の充実により、子どもが健やかに成長できる環境を形成するとともに、だれもが健康で生きがいのある生活が送れるように文化・スポーツ、健康・福祉環境の充実を図り、人と文化が育ち・支え合うまちをめざします。

基本 施策

- ◆就学前教育・子育て支援
- ◆学校教育
- ◆生涯学習・スポーツ
- ◆芸術・文化
- ◆健康・医療
- ◆地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉
- ◆社会保障（福祉医療・低所得者・保険制度）



施策分野 3 都市の発展に向けた活力を生み出すまち



農水産業、製造業などの産業の振興と都市基盤の充実を図るとともに、地域の資源の魅力を活用した観光を振興することで人・モノの交流が活発に展開し、都市の発展に向けた活力を生み出すことができるまちをめざします。

基本 施策

- ◆基盤整備（道路・港湾）
- ◆市街地整備・景観・住宅
- ◆農業・水産業
- ◆工業・地場産業
- ◆商業・観光・公共交通

施策分野 4 とともに創る自立したまち

安定した財政運営のもと、時代の変化に的確に対応できる行政運営を推進するとともに、市内の多様な団体・市民と行政が地域の課題解決に向けて相互に連携してともに創る自立したまちをめざします。

基本 施策

- ◆開かれた市政・広報戦略
- ◆市民協働・コミュニティ
- ◆行財政運営



まちづくり戦略

市民とともにつくる災害に強いまちづくり

地震・高潮・洪水などによる災害被害を最小限にとどめるため、建築物の耐震化や道路・河川・上下水道・港湾などのインフラ施設の強じん化・長寿命化を図り、市民生活のライフラインを守る災害に強いまちづくりをめざします。

また、市民が災害からいち早く避難できるように、必要な情報を速やかに届けるとともに、いざという時に市民同士で協力できるように、ハザードマップなどを活用した自助・共助による防災活動を推進し、市民の防災意識の向上を図ります。



産業と港を活かしたまちづくり

市民が充実した生活を送るためには、それぞれの能力を活かしながら働き、生きがいや喜びを感じる事が欠かせません。そのために、商業・観光業・工業・農業・水産業の振興とともに新たな産業地の開発による企業立地や高い技術力を活かした新たな産業の創出を図ります。

特に臨海部は、市にとって産業を支える重要な拠点であり、衣浦ポートアイランドの活用に向けた整備を促進することで衣浦港全体の多面的かつ高度な利用を促進します。また、産業活動による活力の場としての役割に加え、スポーツ、レクリエーション活動のできる賑わいの場としての役割も強化し、市独自の魅力を活かしたまちづくりを進めます。

誰もが笑顔で元気に暮らせる賑わいのあるまちづくり

子どもから高齢者まで、障害の有無や国籍などに関わらず、だれもが地域社会の一員として地域の人々とのつながりを持ちながら笑顔で暮らし続けることができるように、人々が支え合い、助け合うことのできる、だれ一人取り残さない思いやりにあふれたまちづくりを推進します。

行政手続や教育現場、公共サービスの提供には、AIやICT、多言語翻訳といった時代に応じた先端技術の導入、まちの賑わい創出に欠かせない駅の周辺地域や主要な幹線道路の重点整備、日常生活を支えるための移動手段の利便性向上により、だれもが快適に暮らせるまちづくりを推進します。

市の特徴でもある伝統産業や寺社などの歴史的町並み、芸術・文化・観光拠点でのイベント・事業の実施により、市内だけでなく市外からの来訪者を呼び込み、まちの賑わいを創出します。



人口目標

日本全体が人口減少のなか、市では若者や外国人などを中心に人口が増加しており、今後も積極的な産業の誘致などを行いつつ、新規企業の就業者の定住化を促進することにより人口増加が望めることから、基本構想の目標年次である令和12年の総人口を7万5,000人に設定します。



△へきなん広報大使 中村優花さん